

観光立国の実現は地方(地域)から

2015年 新春特別インタビュー

「おもてなしは感動させることです」

華道家 假屋崎省吾さん



かりやざき・しょうご
假屋崎省吾 花・ブーケ教室主宰。美輪明宏さんから「美をつむぎだす手を持つ人」と評される。日仏交流150周年フランス広報大使、オランダ チューリップ大使を務め、花と建造物のコラボレートとなる個展「歴史的建造物に挑む。シリーズを開催。海外では、フランス・パリ「プティ・パレ宮殿」やヴァンセンヌの森「パリ花公園」で個展を開催するなど国際的にも高い評価を得ている。着物やガラスのデザインおよびプロデュース等にも取り組み、華道歴30周年を迎え、ますます活動の場を広げている

「努力の積み重ねですね。『そう』朝々にはいきませんが、失敗ももちろんあります。1000人

「假屋崎さんが考えるおもてなしの心とは。『まず人です。国内外いろいろなところに行きますが、人間と人間の出会いがおもてなしにつながっていくと思います。昨年10月に目黒黒塚園(東京都目黒区)で15年間続けています恒例の展覧会を開きました。期間中何日かは出張やテレビの仕事で会場を不在にしています。時間まで詰めているんです。するとお客さんが『假屋崎さんがいる!』と声を掛けてくださいます。その方が感激してまた別のお客さまを連れてリピーターとして来られます。それが嬉しいんです。過去には寂しそうな憂いを持ったお嬢さまが、私に会えたと言っていて突然泣き出してしまったこともありました。あまりにも美しいもの(作品)を見た感動ですね。次の年には男の子と来たわけです。『やっと出会えました』って。次の年には『結婚を決めました』。そしてその次の年には『お腹が大きくなりました』。またその次の年には『赤ちゃんが産まれました』。そしてその赤ちゃんと一緒に来場されたこともありました。お年をめた90歳近い方が、『今

「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が

世界に誇るものが宝ものです。その宝の宝をアピールすることです。例えばユネスコ無形文化遺産に登録されて世界的にブームになっている和食や和菓子、日本酒。伝統文化では歌舞伎や能、狂言、茶道、華道、書道など日本の伝統文化という世界にないものがいっぱいあります。『伝統文化と言ったら敷居が高いと思入がまたたかさんいます。『私にもったいないと思っています。もっとお花の世界を気楽にためていきたい。奥の深さを広げていこうと思っています。テレビや展示会をやらせていただいています。日本の伝統文化のほかに日本が持っている自然、景色。日本が持っている海産物、山の物なをアピールできるものはたくさんあります。』日本の全部の地域が魅力的なものを持っていきますね。『地方ごとの郷土料理、例えば治部煮が美味しい加賀料理。京都の懐石や秋田のきりたんぼなど、その土

「お客さまの思いを上回るおもてなし」
「年を雅叙園の100段階を登れるかなと思ってきました。また来年も来ます。』って。その方は90歳になっても来ようと思っています。そうやって来年も来ようと思ってもらえるのは、私がおもてなしの心で、お客さまと接しているからだと思います。』
「一つ一つの出会いを大切にされているんですね。『まず大切なのは人への出会い。そして次に大切なのは物。物とは私の場合花をいける、作品を作ることです。作品を展示する建物の雰囲気も大切。それとサービスです。それが一つでも欠けるとマイナス要因になります。国内でも、海外でもお客さまの立場になったときに、100%でも足りないくらいです。200%、300%、これでもか、これでもかと相手の気持ちになっておもてなしをします。お客さまはどんなことを思っているかな、どんなことを欲しているかな、よく考え、それを上回るほどの提供をしないといけない。そうして成功すればおもてなしがうまくいったことになりす。』
「努力の積み重ねですね。『そう』朝々にはいきませんが、失敗ももちろんあります。1000人

「伝統と革新」
「本物志向で妥協を許さず」
「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が



IKEBANA Créations Contemporaines in フランス・パリ
ヴァンセンヌの森「パリ花公園」

「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が

「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が

「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が

「日本を世界にアピールしていくにはどうしたらいいですか。『日本が持つ持っているもの、日本が

週刊 観光 経済 新聞
宿泊・旅行業 運輸 自治体 (観光全般)

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
東京都台東区池之端2-7-17
井門池之端ビル 110-0008
株式会社 観光経済新聞社
電話 03(3827)9800(代)
FAX 03(3827)9730
関西支社
大阪市北区天満2-1-20
天満松茂ビル 530-0043
電話 06(6354)6160・6290
FAX 06(6354)6292
北海道支社
札幌市東区北17条東15丁目
4の20の707 千065-0017
電話 011(207)3777
FAX 050(9488)4375
東北支社
山形市緑町4-1-4-57
電話 023(687)0702
FAX 023(687)0665
九州支社
福岡市博多区博多駅前4-33-11
朝日プラザ302 910-0011
電話 092(477)5711
FAX 092(477)5711
購読料年間11,340円(税送料込)
(税抜10,500円)
振替口座 00140-2-86888番
Email info@kankokeizai.com

観光経済新聞 電子版
PC版
スマートフォン版 (iPhone/iPad/Android)
2010年1月1日号以降のバックナンバーは過去記事が全て読めます。

新年第2号
◎主な内容
☆3面 針谷・日本旅館協会会長、佐藤・全旅連会長対談
☆6、7面 O.T.A.4社座談会
☆10、11面 N.T.A.支部長の15年業界予測
☆14、16面 旅館若女将座談会
☆22、25面 業界発展に寄与する企業のプロフィール

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION
あらゆる産業分野から厳選された専門新聞・通信社が加盟
読者総数 1,200万人
公益社団法人日本専門新聞協会
平成24年4月1日、公益社団法人になりました。
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-2-12 第2興業ビル
TEL03-3597-8881 FAX03-3508-8888
www.senmonshinbun.or.jp/



京都市指定有形文化財・長楽館 特別企画「假屋崎省吾の世界」

好評販売中!!
出張先・外出先からいつでもどこでも
らく通 アシスト (Webブラウザ)
在庫調整、料金調整専用
どこでも在庫・料金調整が出来て更に便利に!
簡単操作の予約サイトコントローラ
らく通 +PLUS

ネット対応で複雑化する毎日の予約管理も簡単操作で一元管理! 便利な新機能オプションも充実、信頼と万全のサポートが安心のらく通におまかせください。
ホテル旅館さまの施設、業態に合わせて豊富なラインナップから最適な製品をお選びいただけます。万全のサポートを含めて、一切の追加料金がない安心価格。さらに、新機能オプションも加わった「らく通」におまかせください。
※電話(インターネット)通信料は別途、必要です。
※いずれのらく通も初期費用100,000円が必要です。表示価格はすべて税別となっております。
まずはお電話を、042-573-6420
www.raku-2.jp (平日10:00~17:00)
JR 鉄道情報システム株式会社 〒151-8534 東京都渋谷区代々木2-2-2 メール info@raku-2.jp